

みかさ地区だより

2022. 9. 15 No.154
◆三笠地区まちづくり委員会
◆編集 広報記録専門部
◆発行責任者 正田 壽
◆電話 82-6211

避難所開設運営訓練

7月16日(日)三笠小学校体育館にて48名が参加しました。コロナ禍における受付の方法やテントの設営、段ボールベッドの組み立て方など初めての訓練に戸惑いながらも、参加者みんなで協力しながら実践訓練を行いました。課題も見つかり、今後の為にも貴重な訓練の機会となりました。(コ)



受付：市の職員による検温、問診



備蓄倉庫の確認。テント・ベットを体育館へ



説明書を見て8張り分のテント設営



仕組みはシンプル、段ボールベッド組立



居住性の確認、意外にしっかりしている



実際の災害時のテントの幅に設置

【お邪魔します！聞かせて区長さん】 今回は三笠山東区・第一高天原区の区長さんにお聞きしました

★独自で行っている活動を教えてください

＜三笠山東区 市田区長＞ 区長歴21年

コロナや近年の天候により30年ほど続いた夏まつりに代わり、秋まつりを実施します。小さな器を灯ろうにたくさん並べ皆さんの願いを託します。子どもにはお菓子を配布、大人にはお楽しみ抽選券で賞品が当たります。

敬老会事業として節目の方にはお祝い金をお渡ししています。資源ごみに関しては常設エリアを設置し、空き缶、ペットボトル、ビンがいつでも回収できるようになっています。消火栓の位置確認も毎年行っています。地区内で日頃の困ったことを解決“お助け隊”を結成し、買い物や草抜きなど30分ぐらいの簡単な作業のお手伝いをしています。

＜第一高天原区 石橋区長＞ 区長1年目

日本製鉄の社員世帯で構成しております。勤務もまちまちで新型コロナと重なり、地区全体としての活動は出来ておりませんが、ゴミ出しのルールや危険な場所の確認などを行っています。先日行われた避難所開設運営訓練についても皆さんにお知らせしました。若い方が多いので力になれることがあるかと思っています。

★地区の今後について

＜三笠山東区 市田区長＞

三笠山東区は大所帯で500世帯超、27班で活動していますが、まずは小さい組織、隣3軒両隣の繋がりが強くなれば災害時や困った時の対応が早く取れると思っています。そのためには、どのようにしたらご近所同士のコミュニケーションがより良く取れるかを考えていきたいと思っています。

＜第一高天原区 石橋区長＞

若い年代の世帯が多く小さな子どもも多くいます。子ども中心のイベントや活動が出来たら良いと思います。

健康づくりキャンペーン ウォーキング

例年より早い梅雨明けとなった7月10日(日) 14名が参加、三笠まちづくりセンター→下津海岸→ト伝公園→三笠まちづくりセンターのコースを歩きました。心地よい波の音を聞きながら健康づくりキャンペーン2回目のウォーキングも無事終了しました。



下津海岸堤防沿い



鶴駕山神向寺

三笠地区3世代 ポッチャ大会

7月24日(日)三笠小学校体育館にて3世代36名が参加して行われました。今回の子どもの参加は2名でしたが、高齢者から子どもまで一緒に楽しめるスポーツ。地域に広まり交流の場となれば良いですね。(A)



みんなのアドバイスをもらい投球



距離と方向を見定めて



判定に真剣な目！赤か青か～？

生きがい講座 出前講座「それは詐欺だよ！消費者トラブルの話」



他人事ではない、悪徳商法や詐欺

7月30日(土)鹿嶋市消費生活センターの平塚さんを講師に迎え、シニア世代の3大不安であるお金への不安・健康への不安・孤独への不安に付け込んで年々巧妙になっていく詐欺にいかに対処していくか学びました。茨城県では令和3年(1月～12月)中、259件、約4億7千万円の被害が報告されているそうです。自分はだまされない自信があると思っている人にこそ被害者が多いと伺い、ドキッ！うまい話には裏がある。人の良し悪しは見かけでは分からない。相手の話に乗せられずきっぱりと断る勇気を持つ。もし不安に思ったら一人で抱え込まず、家族や信頼できる人に相談する事が大事。他人のアドバイスに耳を傾け、悪徳商法から身を守りましょう。(O)

夏休み親子ラジオ体操

8月22日(月)～28日(日) 6時半～



1週間頑張りました！

夏休みも終盤、朝の気持ち良い空気の中、たくさんのお親さんが元気に参加しました。通年でされている「毎朝ラジオ体操」に参加されている方も含めると毎日40名近い参加となりました。「毎朝ラジオ体操」は雨天を除き毎朝6時半から三笠まちづくりセンター前広場で実施しています。事前申し込み不要ですので、是非参加して体験してください。



夕暮れパトロール
7月19日(火)
下津ヶ丘区の危険個所の点検、ゴミ拾いを行いました。

～編集後記～ 入浴後、晩酌を始める。毎夜のことだ。時節がら鈴虫たちのBGMが加わる。蒸し蒸しとした夏が去って行ったのを実感。鼻歌が出てきそう。が、音痴ゆえ止める。行楽の秋到来だ。グルメ、旅行、スポーツ等々。楽しいことを考えると笑顔になってくる。コロナの治療薬が開発、市販され、安心して外出できるようになりたい。そこで一句「行楽の秋コロナ対策忘れずに」。ちよいとお粗末。更に一句「秋高く恋女房肥ゆ」けだし迷言。・・・お後がよろしいようで。(H)